

## 十 教育委員会

### 教職員設置費

113, 139, 292

小 学 校	5,868 人 → 5,885 人 ( 17 人)
中 学 校	3,367 人 → 3,320 人 ( △ 47 人)
中等教育学校(前期)	69 人 → 75 人 ( 6 人)
高 等 学 校	3,352 人 → 3,264 人 ( △ 88 人)
特 殊 学 校	891 人 → 894 人 ( 3 人)
計	13,547 人 → 13,438 人 ( △ 109 人)

### 県民文化会館管理運営委託等経費

251, 151

県民文化会館の管理運営に要する経費

- 1 指定管理者 (財) 県文化振興財団
- 2 指定期間 18年4月1日～21年3月31日(3年間)

### 生活文化センター管理委託費

14, 937

生活文化センターの管理運営に要する経費

- 1 指定管理者 (株)ウイン
- 2 指定期間 18年4月1日～21年3月31日(3年間)

### 水産実習船運営費

94, 958

宇和島水産高校の実習船「えひめ丸」を使って実施する乗船実習及び体験航海に要する経費

- 乗船実習：鹿児島・ハワイ沖 年1回(海洋工学科、専攻科生)
- ・近海航海 鹿児島 7日間(遠洋航海に先立って実施)
  - ・遠洋航海 ハワイ沖 62日間
- 体験航海：西大分・沖縄・宮崎・長崎
- 年6回(水産食品科、水産増殖科、海洋技術科、専攻科生)
- 3日間又は9日間

### ◎ 今治養護学校新居浜分校運営費

11, 581

- 1 学 校 名 今治養護学校新居浜分校(旧新居浜保健所)
- 2 開 校 予 定 18年4月
- 3 児童生徒数 31人(9学級)
- 4 教 職 員 数 22人

### 武道館管理運営費

167, 515

武道館の管理運営に要する経費

- 1 指定管理者 (財) 県スポーツ振興事業団
- 2 指定期間 18年4月1日～21年3月31日(3年間)

### 専門学科情報教育設備充実費

25, 010

職業学科にインターネット対応パソコンネットワーク学習システムを導入する経費

- (学校名)
- |      |       |               |
|------|-------|---------------|
| 伊予農業 | (41台) |               |
| 大洲農業 | (41台) | (国 1/3、県 2/3) |

### 産業教育設備充実費

79, 779

(学校名) (装置内容)

- |         |          |               |
|---------|----------|---------------|
| 東 予     | 自動測量製図装置 |               |
| 新居浜工業   | 金属加工機械   |               |
| 今 治 北   | 情報実務実習装置 |               |
| 八 幡 浜   | 情報実務実習装置 |               |
| 松 山 商 業 | 情報実務実習装置 | (国 1/3、県 2/3) |

◎ 県民文化会館改修事業費

19,346

県民文化会館別館及び駐車場の改修等を行う経費

- 1 別館(現老人児童福祉センター)改修 室内・屋根改修、備品購入等
- 2 西側駐車場整備 駐車場整地(収容台数135台)、出入口門扉、フェンス設置

県立学校校舎等整備関係経費

1,796,097

県立学校校舎整備事業費

1,265,809

老朽化の著しい校舎について木造・木質化を積極的に図り、計画的に改築を行う。

(学校名)	(対象建物)	(面積)	(構造)	改築の整備方針
今治西	本館	1,505㎡	RC(木質)造3F	┌3階建以上 RC造(内装木質化)
今治北	特別教棟	1,972㎡	RC(木質)造4F	└2階建以下 木造
第一養護	普通教棟	1,248㎡	木造2F	

○ 高等学校校舎等大規模改造事業費

530,288

校舎等建物の耐久性を確保するとともに耐震性の向上を図るため、計画的に改造を行う。

- 1 大規模改造工事
    - ・内容 屋上防水、窓枠取替、外壁改造、耐震補強
  - 2 耐震診断及び改修設計
    - ・内容 構造耐力、老朽化を調査し耐震判定、設計を行う。
  - 3 耐震化予備調査
    - ・内容 耐震診断の優先度を調査する。
- | (学校名) | (対象建物)  | (面積)   | (学校名) | (対象建物)  | (面積)   |
|-------|---------|--------|-------|---------|--------|
| 伊予農業  | 特別教棟    | 4,330㎡ | 今治工業  | 普通教棟    | 2,070㎡ |
| 南宇和   | 本館、特別教棟 | 2,952㎡ | 三島    | 本館、普通教棟 | 6,593㎡ |
|       |         |        | 松山南   | 特別、普通教棟 | 6,306㎡ |
|       |         |        | 南宇和   | 普通教棟    | 1,564㎡ |
|       |         |        | 西条農業  | 特別、普通教棟 | 2,862㎡ |
|       |         |        | 新居浜工業 | 本館、特別教棟 | 3,470㎡ |
|       |         |        | 今治西   | 特別教棟    | 1,903㎡ |
|       |         |        | 吉田    | 特別教棟    | 3,367㎡ |
|       |         |        | 今治北   | 特別教棟    | 1,543㎡ |

特殊学校設備整備費

23,524

教材等設備の整備

◎ 萬翠荘改修事業費

99,879

萬翠荘の文化財的価値を維持するための改修を行う。

- 1 左官工事 外壁、漆喰面、タイル等補修
- 2 建具工事 窓枠、扉等補修
- 3 塗装工事 ペンキ、ワニスの汚れ落とし
- 4 雑工事 壁紙、灯具、椅子・机等補修

文化財保存顕彰事業費補助金

3,143

所在市町	交付先	事業内容
四国中央市	宗教法人三皇神社	天然記念物 「棹の森」の枯木伐採、剪定作業
今治市	今治市	天然記念物 「湿地植物」の木道整備
松山市	恵原町組合	史跡 「荏原城跡」の土塁補修
松山市ほか	史跡「荏原城跡」(松山市)の環境整備など5件	

○ 県補助率

区分	補助率
1,000万円以下の額	1/3
1,000万円を超え 2,000万円以下	1/6
2,000万円を超え 2,500万円以下	1/10
2,500万円を超える額	1/15

**重要文化財等保存修理費補助金**

4,641

所在市町	交付先	事業内容
内子町	芳我 大輔	本芳我家住宅保存修理
		本芳我家住宅防災施設設置
松山市	(財)重要文化財渡部家住宅保護財団	渡部家住宅主屋・表門・米倉・蔵修理
今治市	大山祇神社	美術工芸品(鎧)保存修理

県補助率 国庫補助残額の1/3以内

◎ **高等学校教育研究大会補助金**

2,000

- 1 大会名 第57回全国日本学校農業クラブ全国大会
- 2 時期 18年10月25日(水)～26日(木)
- 3 場所 県民文化会館ほか
- 4 参加者 6,500人

◎ **全国人権・同和教育研究大会支援事業費**

10,000

- 1 時期 18年12月2日(土)～3日(日)
- 2 場所 松山市(愛媛県武道館 外)
- 3 参加者 約20,000人

◎ **全国中学校体育大会支援事業費**

10,000

- 1 時期 18年8月17日(木)～25日(金)
- 2 場所 松山市、宇和島市、新居浜市
- 3 種目 サッカー、軟式野球、ソフトテニス、相撲
- 4 参加者 2,100人

**定時制通信制課程修学奨励費**

3,192

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 1 定時制課程              | 2 通信制課程             |
| 1～4年生(17人) 14,000円/月 | 1～4年生(2人) 14,000円/月 |

**県立学校火災等災害復旧費積立金**

273

基金運用益の積立

**国民体育大会開催基金積立金**

200,770

民間企業・団体及び一般県民からの募金を基金に積立

- 1 基金条例名 愛媛県国民体育大会開催基金条例
- 2 基金の用途 第72回国民体育大会の開催及び開催準備並びに競技力向上対策に要する経費に充当

**教職員海外派遣事業費**

2,325

区分	派遣人員	派遣期間
短期派遣	5人	16日
長期派遣	1人	90日
計	6人	

## 教員の資質向上推進事業費

1, 268

- 1 教員の資質向上審査委員会の設置
  - (1) 委員 6人(学識経験者、医療関係者、学校関係者、教育行政関係者等)
  - (2) 会議 年2回
    - ・ 指導力不足等教員の認定についての検討
    - ・ 指導力不足等教員の復帰についての検討
- 2 指導力不足教員に係る研修
  - (1) 県総合教育センター等研修 個々の教員の態様に応じた研修の実施
  - (2) 連絡協議会 年2回

## えひめ授業の鉄人育成支援事業費

1, 147

児童生徒にとって楽しく・分かる授業を展開し、優れた実績をあげている教員を表彰し、学習指導力向上を図る。

- 1 選考
  - (1) PTA関係者、児童生徒、学校関係者の推薦
  - (2) 選考委員会で審査
- 2 表彰 5人
- 3 公開授業 被表彰者所属校のうち小・中・県立各1校で実施

## 新規採用教員研修費

19, 267

- 1 対象者  
小学校 31人、中学校 20人、高校 30人、特殊学校 3人 計84人
- 2 事業内容
  - (1) 実施校校長等連絡協議会 年1～2回
  - (2) 教育センター等研修 20～21日
  - (3) 2年目フォローアップ研修 4～5日
  - (4) 宿泊研修 2泊3日

## 幼稚園就園奨励費補助金

40, 601

- 1 事業主体 市町
- 2 対象園児 4、5歳児
- 3 補助対象限度額  
・生活保護、市町村民税非課税世帯

補助区分	公立	私立
小3以下の兄弟がいない就園者	20, 000円	140, 500円
小3以下の兄弟が1人いる就園者	26, 000円	156, 000円
小3以下の兄弟が2人いる就園者	32, 000円	170, 000円

・市町村民税所得割非課税世帯

補助区分	公立	私立
小3以下の兄弟がいない就園者	20, 000円	106, 500円
小3以下の兄弟が1人いる就園者	26, 000円	125, 000円
小3以下の兄弟が2人いる就園者	32, 000円	142, 000円

- 4 負担区分 県 1/3(国 1/3、市町 1/3)

## 幼稚園新規採用教員研修費

2, 337

- 1 対象教員数 108人(公立 6、私立 102)
- 2 事業内容
  - (1) 連絡協議会 年1回
  - (2) 園外研修 本庁等研修(年6日)、宿泊研修(3泊4日) 愛媛県幼稚園連合会に委託
  - (3) 園内研修 公立6人 指導教員(非常勤)を設置(新採1人当り年5日)

## 子どもと親の相談員等配置事業費

9, 049

不登校などの未然防止や早期発見・早期対応などに対応するため小学校に相談員を配置するとともに、生徒指導体制の充実を図るため生徒指導推進協力員を配置する。

- 1 子どもと親の相談員配置調査研究
  - (1) 研究校 11市町 20校
  - (2) 研究内容 相談員の配置効果等に係る実践的な調査研究
  - (3) 相談員 市町が退職教員、青少年団体指導者等から選考のうえ委嘱
- 2 生徒指導推進協力員配置調査研究
  - (1) 研究校 公立小学校5校
  - (2) 職務内容 各学校の実状に応じ、校内の生徒指導体制の強化策の検討、実施など
  - (3) 相談員 市町が退職した教員、家庭裁判所調査官、警察官等から選考のうえ委嘱(国 10/10)

## スクールカウンセラー活用事業費

43, 951

- 1 配置校
  - (1) スクールカウンセラー 26中学校
  - (2) スクールカウンセラーに準ずる者 14中学校(国 1/2、県 1/2)
- 2 活動
  - ・生徒へのカウンセリング
  - ・教職員及び保護者に対する助言・指導等

<b>教育課程研修推進費</b>	<b>2, 231</b>
1 小学校教育課程説明会	
(1) 中央説明会	東京 12部会
(2) 教育課程研究集会	県下3会場 参加者 約1,010人 (全教員の1/5)
2 中学校教育課程説明会	
(1) 中央説明会	東京 12部会
(2) 教育課程研究集会	県下3会場 参加者 約640人 (全教員の1/5)
(3) 進路指導研修	進路指導主事研修
<b>生徒指導地域ネットワーク支援事業費</b>	<b>900</b>
1 事業主体	1市町
2 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒指導総合連携推進委員会の設置</li> <li>・ 実践協力機関での実践</li> </ul> (国 10/10)
<b>道徳教育社会人活用事業費</b>	<b>336</b>
特別非常勤講師の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5人(文化人、哲学者、スポーツ関係者など)</li> <li>・ 実施校 各教育事務所管内1校ずつ</li> <li>・ 実施期間 週1回4時間×12週</li> <li>・ 道徳授業への参加、体験活動講師 等</li> <li>・ 負担区分 県 1/2(市町1/2)</li> </ul>
<b>教員10年経験者研修費</b>	<b>26, 592</b>
1 教員10年経験者研修	
(1) 対象教員	294人(小123、中81、高73、特17) 在職期間が10年に達した公立学校教諭
(2) 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修企画等委員会(研修方法等検討)</li> <li>・ 教育センター等研修(17日)</li> <li>・ 自校内研修(18日)</li> </ul>
2 幼稚園教員10年経験者研修	
(1) 対象教員	7人 在職期間が10年に達した公立幼稚園教諭
(2) 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修企画委員会(研修方法等検討)</li> <li>・ 教育センター等研修(10日)</li> <li>・ 自園内研修(10日)</li> </ul>
<b>不登校対策ネットワーク整備事業費</b>	<b>8, 133</b>
不登校児童生徒に対する支援を行なうため、学校・家庭・関係機関が連携したサポートシステムを整備する。	
1 不登校対策ネットワーク推進協議会	事業の推進方策の検討等
2 広域不登校対策センター(県総合教育センター)	関連機関相互の情報交換や研修
3 地域不登校対策センター(新居浜市、宇和島市外2市町)	相談員による出張教育相談、不登校児の親のカウンセリング等
	(国 10/10)
<b>英語教員パワーアップ研修事業費</b>	<b>2, 606</b>
公立中学校及び県立学校の英語教員を対象に英語でのコミュニケーション活動を重視した研修を実施する。	
1 対象教員	96人 (中48人、高43人、特殊5人) 公立中学校(中核市除く)及び県立学校の英語の教員免許状取得者
2 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英会話能力パワーアップ研修指導委員会(研修方法等検討)</li> <li>・ 全体研修(7日)</li> <li>・ 個人研修(3日)</li> </ul>

- **確かな学力定着向上調査研究事業費** 12, 211  
「確かな学力」の定着向上を図る有効な手立てについて実践的な調査研究を行う。  
1 学習状況調査検討委員会  
・委員 10人(学識経験者、企業関係者、PTA・学校評議員等)  
・会議 年2回 学習状況調査結果の考察と検証等  
2 学習状況調査担当者会  
・委員 32人(小12人、中15人、指導主事5人)  
・会議 年4回 調査結果報告書等の作成  
3 学習状況調査  
・調査対象 小学校 第6学年(全員) 約14,300人 中学校 第2学年(全員) 約13,800人  
・実施教材 小学校 国、社、算、理 中学校 国、社、数、理、英  
・実施期間 18年5月～6月  
4 研究指定校の設置 20校  
5 県協議会の実施  
・参加者 研究指定校代表者、指導助言者、県教委職員  
・会議 年1回 情報交換及び学識経験者からの指導助言
- ハートなんでも相談員設置事業費** 12, 000  
生徒や保護者が気軽に相談できる体制の充実を図るため、学校現場に相談員を配置する。  
1 事業主体 市町  
2 設置校 公立中学校50校(スクールカウンセラー設置校等を除く)  
3 相談員 市町が退職した教員、青少年団体指導者、大学生等から選考のうえ委嘱  
4 負担区分 県 1/2(市町1/2)
- 教員5年経験者研修費** 2, 237  
1 対象教員 170人(小54、中31、県立85)  
在職期間が5年に達した公立学校教員  
2 内容  
・共通研修(2日)  
・校種別研修(8日)  
・研修企画担当者会
- ◎ **「心に響け日本の歌」開催事業費** 3, 648  
情操教育の活性化を図るため、小学校へ声楽家等を派遣する。  
1 派遣校 小学校40校  
2 指導者 声楽家、伴奏者等  
3 内容 童謡・唱歌等日本の歌の鑑賞  
歌詞の意味やメロディーの特徴の解説  
子どもと専門家の合唱等
- ◎ **「あっとホームページコンテスト」実施事業費** 402  
小中学生に情報活用能力と情報モラルを身に付ける教育を推進するため、ホームページコンテストを実施する。  
1 募集対象 県内公立中学校のホームページ  
2 審査基準 企画・内容の充実  
情報モラルへの配慮  
3 作品紹介 選考結果を県ホームページで発表し、受賞校のホームページとリンクさせて紹介
- ◎ **「森はともだち」推進事業費** 1, 575  
森林をテーマにした総合的な学習の時間の研究推進校を設置する。  
1 研究指定校 公立小中学校5校  
2 期間 2年間  
3 内容 身近な森林や河川の状況の調査  
森林地域における野鳥や動植物の保護など
- **全国学力調査研究事業費** 663  
教育課程や学校における指導改善ための実践的な調査研究を行う。  
1 研究指定校 県内2市町(小中学校1校)  
2 研究期間 2年間  
(国 10/10)

○ 学校評価システム研究事業費	8,030
学校が行う自己評価や市町が行う外部評価の実践研究を行う。	
1 委託先	県内1市町(小中学校10校)
2 内容	学校評価委託事業運営委員会 評価シート作成業務 学校自己評価等報告書作成
<b>エキスパート活用事業費</b>	<b>2,986</b>
優れた知識や技能を有する社会人を学校講師として活用する。	
1 実施対象校	県立高校全校
2 実施対象	教科・科目等 特別活動
3 指導者	地域のエキスパート
4 指導内容	・ 授業等の内容を深化させるもの ・ 産業の発展に対応したもの ・ 心を豊かにし、夢や希望を育むもの 等
<b>外国語指導助手招致事業費</b>	<b>75,244</b>
1 招致人数	15人
2 招致場所	総合教育センター、県立高校
3 業務内容	(1) 英語担当教員の現職教育 (2) 学校訪問指導 (3) 英語教育クリニック等
<b>英語担当教員海外派遣事業費</b>	<b>912</b>
1 派遣先及び派遣人員	英語圏1人(中学・高校英語担当教員を隔年で各1人派遣)
2 派遣時期	18年7月～9月
<b>問題行動特別指導事業費</b>	<b>798</b>
問題行動特別指導班の設置(15人)	
1 構成	医師、弁護士、警察関係者、更生機関指導員ほか
2 活動内容	教育委員会の要請により専門的な立場から指導・助言を行い、問題の解決に当たる。
<b>学校評議員制度推進事業費</b>	<b>1,872</b>
学校経営に地域の声を反映させるため、県立学校に学校評議員を設置する。	
1 設置	・ 県立高校・特殊学校 全60校
2 回数	・ 各評議員からの意見聴取 年3回(各学校での意見交換 年1回を含む。)
3 構成	・ 地域住民代表、学識経験者など
4 内容	・ 学校運営や教育活動に関すること ・ 学校と家庭や地域社会との連携
<b>高校生ふるさと元気づくり推進事業費</b>	<b>2,000</b>
元気なふるさとづくりに密着した高校生の活動を支援する。	
1 対象校	県立高校5校
2 期間	1年間
3 活動事例	・ 共通テーマ 「高校生ふるさと元気づくり」 ・ 地域文化・産業の継承や創造を図る教育の推進 ・ ふるさとの活性化に貢献する元気な高校生プロジェクト ・ 地域とのネットワークづくりの推進

**スクールライフアドバイザー活用事業費** 7,200

高校生が心にゆとりを持てる環境を整備するため、県立高校に「スクールライフアドバイザー」を配置する経費

- 1 アドバイザー 退職した教員、青少年育成団体関係者等
- 2 配置校 県立高校25校(配置を希望する学校)
- 3 職務内容 ・ 生徒の悩み相談・話し相手 ・ 教員からの相談に対する助言  
・ 地域における情報収集、地域と学校の連携支援 ・ ホームルーム活動等の支援
- 4 勤務形態 1回/週(1回当たり6時間程度)

**高校生職場体験活動充実事業費** 5,440

就職活動や就職後の定着対策に資するため、高校生に勤労観・職業観を育てるキャリア教育を充実させる。

- 1 職場体験活動(インターンシップ)の推進  
県立高校40校で実施  
(1) 学習会(事前)と発表会(事後)の開催  
(2) インターンシップの実施 参加生徒数3,600人
- 2 職場見学会の充実  
県立高校40校で実施 1校当たり5事業所

**高校生英会話チャレンジキャンプ事業費** 1,000

英語だけの生活を体験することによりコミュニケーション能力の基礎を身に付け、学ぶ意欲を培うための英語キャンプを開催する。

- 1 対象人数 県立高校生120人程度(東・中・南予各40人)
- 2 期間 夏季休業中の3泊4日(東・中・南各1か所)
- 3 内容 ・ 大学教授等外部講師による英会話レッスン  
・ 県内ALT(英語指導助手)によるコミュニケーション・プラクティス  
・ 英語教員・大学生講師助手による英会話サポート

**高校生学びのすすめ推進事業費** 11,086

「確かな学力」を身に付けた高校生を育成するため、学力の向上や個人の能力・才能を伸ばすための教育実践を行う。

- 1 学びトライアル合宿の実施  
(1) 対象校数 県立高校40校  
(2) 実施期間 4泊5日  
(3) 内容 ・ 外部講師による講話・焦点講義  
・ 自校教員による各教科の講義
- 2 学力向上研究指定校の設置  
(1) 研究指定校 県立高校6校(東・中・南予各2校)  
(2) 指定期間 1年  
(3) 内容 学校独自の学力向上計画を企画し、優秀な企画に対し経費を補助する。

**高校生自慢の手づくりホームページコンテスト事業費** 357

情報活用能力と情報モラルを身に付けた高校生を育成するため、ホームページコンテストを実施する。

- 1 参加対象 県内の高校生(個人又はグループ)
- 2 募集部門 学校紹介部門  
学習成果発表部門(環境、福祉、産業など)  
地域紹介部門(元気なまちづくり、ふるさと自慢)
- 3 作品紹介 入賞作品を県ホームページに掲載、公開する。

◎ **中国青少年交流国際音楽祭派遣事業費** 2,280

中国杭州市の青少年交流国際音楽祭に高校生を派遣し、芸術活動を通じた交流を図る。

- 1 派遣先 中華人民共和国 杭州市「杭州青少年交流国際音楽祭」
- 2 派遣人数 1校27人(生徒24人、教員3人)
- 3 期間 18年8月下旬 5日間(4泊5日)

**障害児ふれあい体験学習事業費** 2,200

- 1 ふるさと友だちづくり交流活動  
盲・聾・養護学校の児童生徒が居住地の小・中学校の児童生徒と行う交流活動(年3回)
- 2 学校間・地域交流活動  
盲・聾・養護学校が協力校や地域団体と行う交流活動
- 3 養護学校訪問教育対象児童生徒の本校学習への参加



**えひめ特別支援教育コーディネーター養成研修費** 4, 526

特別支援教育を進めるうえで、中心的役割を担う特別支援教育コーディネーターを養成する。

- |                                  |                         |
|----------------------------------|-------------------------|
| 1 特別支援教育コーディネーター養成研修             | 2 特別支援教育推進研修会(年1回)      |
| (1) 対象教員 530人(小・中517人、盲・聾・養護13人) | (1) 対象<br>養成研修受講者の所属学校長 |
| (2) 内 容                          | (2) 内 容                 |
| ・ 研修企画委員会(研修方法等検討) (年1回)         | 特別支援教育の推進についての趣旨徹底      |
| ・ コーディネーター養成研修 (年3回)             |                         |

**教職員研修旅費** 584, 092

小 学 校	5,874人
中 学 校	3,317人
中等教育学校(前期)	75人
高 等 学 校	3,095人
特殊教諭	708人
学校寄宿舎指導員	134人
計	13,203人

**えひめ丸慰霊碑管理協会運営費等補助金** 1, 581

ハワイ州ホノルル市に建立した「えひめ丸慰霊碑」の維持管理経費に対する助成

- 1 交付先 えひめ丸慰霊碑管理協会
- 2 設置場所 ホノルル市カカアコ・ウォーターフロント公園
- 3 事業内容 慰霊碑の維持管理、ハワイ州との連絡調整等
- 4 補助率 県 10/10

◎ **県立学校再編整備計画検討委員会設置費** 353

- 1 委 員 12人程度 (学識経験者、経済界関係者、地域活動者、PTA関係者、学校関係者)
- 2 会 議 年2回
- 3 検討項目 県立高等学校の適正規模・適正配置等について  
県立学校の再編整備計画について  
特別支援教育の在り方について

**養護学校訪問教育指導旅費** 5, 977

- 1 対象校 第三養護学校、今治養護学校、宇和養護学校
- 2 児童生徒数 65人
- 3 教員数 27人
- 4 訪問回数 週3回 1回2時間

**特殊学校就学奨励費** 205, 102

経費負担増を理由とした就学機会の阻害を解消するための助成

- ・ 教科用図書購入費
  - ・ 修学旅行費
  - ・ 職場実習宿泊費
  - ・ 学校給食費
  - ・ 学用品、通学用品費等
  - ・ 交通費
  - ・ 新入生学用品費等
  - ・ 寄宿舎居住に伴う経費
  - ・ 宿泊生活訓練費
- (国 1/2、県 1/2)

生涯学習講座開設事業費

3, 187

- 1 放送県民大学の開設  
放送番組の在宅視聴とスクーリング
  - (1) 場 所 各教育事務所管内 各1ヶ所(計5ヶ所)
  - (2) 期 間 9~12月(各会場3回)
  - (3) 定 員 各会場 150人
- 2 コミュニティ・カレッジの開設
  - (1) 場 所 生涯学習センター
  - (2) 講 座 3コース10講座
  - (3) 定 員 各30人~60人
  - (4) 回 数 各講座6~12回

博物館生涯学習推進事業費

3, 133

コミュニティ・カレッジの開設

回数等	定 員	総合科学博物館	歴史文化博物館
各6回 ~ 12回	30人 ~ 60人	文学、歴史	文学
		ふるさとおもしろ講座、愛媛の博物館講座 愛媛の風土・文化財講座 愛媛の研究機関講座	ふるさとおもしろ講座 わくわく愛媛の博物館講座 愛媛の研究機関講座
		ボランティア、環境	手話、ボランティア、環境

えひめ地域学調査研究普及推進事業費

562

- 1 実施主体 生涯学習センター
- 2 実施内容
  - ・えひめ地域学の普及促進
  - ・えひめ地域学の調査研究

学び舎えひめ運営事業費

1, 099

- 生涯学習センターを核として、関係機関が連携し学習機会や情報を県民に提供する「学び舎えひめ悠々大学」を運営する。
- 1 ホームページの管理
  - 2 参加要請活動の実施
  - 3 広報啓発活動の展開
  - 4 学習成果の活動支援方策の検討

全国青年大会費

2, 286

- 1 県青年大会
  - (1) 体育の部
    - ・時 期 18年8月(2日間)
    - ・場 所 県総合運動公園 ほか
    - ・参加者 約1,000人
  - (2) 文化の部
    - ・時 期 18年8月(2日間)
    - ・場 所 県立中央青年の家
    - ・参加者 約200人
- 2 全国青年大会派遣
  - (1) 時 期 18年11月(4日間)
  - (2) 場 所 国立競技場 ほか
  - (3) 派遣人数 170人
  - (4) 補 助 金 定額

ボーイスカウト日本ジャンボリー派遣費補助金

700

- 1 交 付 先 日本ボーイスカウト愛媛県連盟
- 2 時 期 18年8月3日(木)~7日(月)
- 3 場 所 石川県珠洲市(りふれっしゅ村 鉢ヶ崎)
- 4 派遣人員 285人(スカウト192人、指導者93人)

博物館展示事業費

26, 076

企画展の開催

総合科学博物館	7月~8月(50日間)	昆虫No.1決定戦(仮)
歴史文化博物館	7月~9月(50日間)	昭和の観光旅行 —懐かしい旅のキオク—(仮)
	10月~11月(50日間)	ときめく装い展 —小町娘からモダンガールまで—(仮)

博物館事業運営費

39, 361

- 1 資料収集・整理・保存事業
- 2 調査研究事業
  - ・ 研究分野 総合科学博物館(自然、科学技術、産業、企画普及部門)  
歴史文化博物館(歴史、考古、民俗、文書、企画普及部門)
  - ・ 調 査 現地調査と文献資料調査の併用
  - ・ 報告書(研究紀要)の作成
- 3 普及啓発事業
  - (1) 講座の実施

総合科学博物館	講座名	1回当たり 人数	開催 回数
	親子自然教室	48人	6回
	自然観察会	50人	6回
	星空観察会	30人	8回
	科学工作教室	20人	6回
	科学実験教室	20人	6回
	産業講座	50人	6回

歴史文化博物館	講座名	1回当たり 人数	開催 回数
	歴史講座	40人	8回
	民俗講座	30人	4回
	考古講座	30人	4回
	文書講座	30人	6回
	体験学習講座	40人	8回

- (2) 印刷物の刊行(博物館だより、博物館年報、博物館学習ノート)
- (3) プラネタリウムの運営(総合科学博物館のみ)

○ 子どもと本の出会い推進事業費

1, 396

- 1 子どもと本の出会い推進事業
  - (1) みんなで聞こう
    - ・ 対象 小中学生(1回100人)  
地域の指導者・ボランティア(1回30人)
    - ・ 場所 県立図書館・市町立図書館
    - ・ 回数 夏休み中 2回
  - (2) おはなし会
    - ア わくわくおはなし広場
      - ・ 対象 幼児・小学生(1回80人)、  
地域の指導者・ボランティア(1回50人)
      - ・ 場所 県立図書館・市町立図書館
      - ・ 回数 夏休み中 2回
    - イ おはなしだいすき!
      - ・ 対象 幼児・小学生(1回40人)、  
地域の指導者・ボランティア(1回10人)
      - ・ 場所 県立図書館
      - ・ 回数 24回(月2回)
  - (3) ブックトーク
    - ・ 対象 小中学生(1回40人)、  
地域の指導者・ボランティア(1回20人)
    - ・ 場所 学校・市町立図書館
    - ・ 回数 6回(県立図書館及び各教育事務所)
- 2 親子で楽しむ読書教室
  - ・ 対象 幼児・小学生とその保護者(1回50組)、  
地域の指導者・ボランティア(1回20人)
  - ・ 場所 県立図書館
  - ・ 回数 8回
- 3 子どもの本棚応援事業
  - ・ 貸出施設 学校等教育施設
  - ・ 貸出方法 宅配便
  - ・ 貸出期間 6月～1年

○ 美術館展示事業費

64, 783

企画展の開催

区分	分野	テーマ	開催時期
第1回	絵画・彫刻	ピカソとモディリアーニの時代展	18年4月～6月 (40日間)
第2回	絵画	ヨーロッパ絵画名作展	18年6月～7月 (39日間)
第3回	版画	四大浮世絵師展	18年8月～9月 (35日間)
第4回	総合	大おさかな芸術展(宝くじイベント共催事業)	18年10月～11月 (40日間)
第5回	絵画	松本山雪 伊子の絵画の曙	19年2月～3月 (38日間)

<b>美術館事業運営費</b>	<b>12,087</b>
1 資料収集・保管事業	
2 調査研究事業	
・ 研究分野 美術分野(絵画、版画、彫刻工芸、現代美術の歴史、美学、技術) 企画普及分野(講座の運営、美術学習のあり方)	
・ 調 査 文献調査及び現地調査	
・ 報告書(研究紀要)の作成	
3 普及啓発事業	
(1) 美術講座の実施	
・ 実技講座 2講座 6回(こども向け講座 1講座、一般向け講座 1講座)	
・ 美術講座 2講座 2回(こどものための鑑賞講座、郷土の作家)	
・ 美術体験講座 8回	
(2) 美術講演会の実施 1回	
(3) 情報誌の発行(美術館ニュース年4回・年報年1回)	

<b>「愛媛の名工ふれあい展」開催事業費</b>	<b>3,013</b>
県美術館において、砥部焼や桜井漆器など本県の優れた伝統工芸品の製作過程を名工により実演、紹介するとともに芸術作品として鑑賞する機会を提供する。	
1 実演企画展の開催	
(1) 実演 期間中毎日曜日に、名工2人による実演(エントランスホール)	
(2) 展示 県内の名工による作品約100点を展示(企画展示室)	
2 開催期間 19年1月5日(金)～1月28日(日) 21日間	
3 場所 県美術館	

<b>人権教育促進事業費</b>	<b>3,227</b>
人権に関する学習活動の市町調査指導、指導者研修会の開催、学習教材等の作成、配布	

<b>文化活動活性化支援事業費</b>	<b>1,200</b>
(財)県文化振興財団が実施する、県民の自主的、創造的な文化活動に対する支援事業への助成	
1 事業主体 (財)県文化振興財団	
2 補助対象 広く県民が参加する文化活動成果発表事業等	
3 限度額 30万円(先進的・創造的なものは50万円)	
4 決定方法 学識経験者等による審査委員会において決定	
5 負担割合 県1/5 財団3/10 団体1/2	

<b>県民総合文化祭開催事業費</b>	<b>39,622</b>
1 会期 18年11月4日(土)～11月26日(日) 23日間	
2 会場 5市3町	
3 事業数 42事業 総合フェスティバル、舞台芸術事業、企画公募事業、生涯学習まつりなど (うち21事業については、県文化協会へ委託実施)	

<b>地域芸術劇場開催事業費</b>	<b>2,098</b>
1 本物の舞台芸術体験事業	・ オーケストラ(愛南町、松山市中島) ・ 児童劇(砥部町、四国中央市土居) ・ 合唱(伊方町瀬戸)
2 こどものための音楽会	地方公演 オーケストラ(県下2会場)

**中四国文化の集い派遣事業費** 305  
 1 派遣先 徳島県板野郡板野町(18年秋)  
 2 派遣団体 1団体20人(童謡)

**国民文化祭派遣事業費** 640  
 1 派遣先 山口県(18年11月3日(金)～11月12日(日))  
 2 派遣団体 3団体(64人)  
 ・ ジャズダンス団体 ・ 民謡民舞団体 ・ 日舞団体

**えひめこども文化体験劇場開催事業費補助金** 1,066  
 優れた芸術に触れる機会を提供するため、市町が実施する児童演劇公演に対して補助金を交付する。  
 1 対象事業 市町が実施する児童演劇公演  
 2 場 所 県内7会場  
 3 時 期 秋～冬  
 4 参加者 小学生及びその保護者、教職員  
 5 補助金額 公演費委託料の1/2を補助

**こども文化サマースクール開催事業費** 1,423  
 豊かな人間性を育むとともに、芸術文化活動を担う人材を育成するため、小学生を対象とした文化体験合宿を実施する。  
 1 対象者 小学生(4、5、6年生)  
 2 場 所 県立中央青年の家、県生涯学習センター  
 3 時 期 18年8月(2日間)  
 4 内 容 ・ 音楽コース ・ 美術創作コース  
 ・ 演劇コース ・ 伝統文化コース 各コース定員20人(計80人)

◎ **えひめ舞台芸術公演支援事業費** 3,000  
 舞台芸術で先進的かつ新たな取組みとなる公演を自主開催する県内団体への助成  
 1 オペラえひめ公演開催事業費補助金  
 (1) 公演名 喜歌劇「こうもり」(全幕)  
 (2) 期 日 19年2月18日(日)  
 (3) 会 場 県民文化会館 メインホール  
 (4) 交付先 オペラえひめ  
 2 坊っちゃん劇場ミュージカル公演開催事業費補助金  
 (1) 公演名 ミュージカル「坊っちゃん」  
 (2) 期 間 18年4月～19年3月  
 (3) 会 場 坊っちゃん劇場  
 (4) 交付先 (株)ジョイ・アート

◎ **県民文化会館別館文化のひろば事業費** 2,800  
 文化体験事業の実施  
 1 時 期 18年7月の日曜日(県民文化会館別館の開館にあわせて実施)  
 2 場 所 県民文化会館別館(現老人児童福祉センター)  
 3 事 業 ・ 一日レクリエーション体験 ・ 落語、漫才等の発表会  
 ・ 陶芸入門 ・ 囲碁、将棋のチャレンジマッチ  
 ・ 一日工作教室

**保健室健康相談支援事業費**

3, 200

学校における健康相談活動への支援に要する経費

- |  |   |
|--|---|
| 1 学校・地域保健連携推進委員会の設置<br>・委員 8人 ・年2回開催   | 3 事業報告会の開催と報告書の作成(620部)                           |
| 2 健康相談活動アドバイザーの派遣<br>・小・中・高校へ派遣 年100回程度<br>・内容 支援を希望する学校へアドバイザーを派遣し<br>養護教諭等への支援 | 4 保健室健康相談活動研修会<br>・対象 養護教諭<br>・内容 健康相談活動の知識や技術の研修 |
|  | 5 全国研究協議会へ参加                                      |

(国10/10)

**◎ 学校給食調査研究事業費**

1, 800

- |                                      |                       |
|--------------------------------------|-----------------------|
| 1 調査研究                               | 2 普及事業                |
| (1) 検討委員会等の設置                        | (1) 公開授業              |
| ア 理想的な学校給食検討委員会<br>・委員12人 ・年3回開催     | (2) 報告書配布、広報、ホームページ活用 |
| イ 理想的な学校給食ワーキンググループ<br>・委員11人 ・年3回開催 |                       |
| (2) 中央連絡協議会                          |                       |
| (3) 指導資料作成 900部                      |                       |

(国10/10)

**◎ 児童生徒生活習慣等調査研究事業費**

880

児童生徒の睡眠や食生活が健康に及ぼす影響等に関する調査研究

- 1 調査研究委員会の設置  
・委員11名 年3回開催
- 2 ワーキンググループの設置  
・委員13名 年4回開催
- 3 研究報告書作成 630部

(国10/10)

**◎ 子ども安全情報共有システム研究事業費**

4, 370

携帯電話やパソコン等を活用した学校安全情報共有システムに関するモデル的な取組みを推進する。

- 1 モデル地域 1地域
- 2 期間 18年4月～19年3月
- 3 内容  
・子ども安全情報共有推進委員会の設置、運営  
・情報共有システム実施業務  
・全国実践事例発表交流会での発表  
・調査報告書の作成 250部

(国10/10)

**◎ 地域ぐるみの学校防災推進研究事業費**

1, 500

自然災害に対し、児童生徒が適切に対応できる能力を養うとともに、防災体制の充実を図る。

- 1 モデル地域 1小学校区
- 2 期間 18年4月～19年3月
- 3 内容  
・自然災害に対する地域ぐるみの学校防災モデルの研究  
・計画的な防災教育の実施  
・地域を含めた学校防災体制の構築と防災訓練等の実施  
・防災マップ・マニュアル等の作成・充実  
・防災対策研究団体との連携

(国10/10)

**○ 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費**

21, 100

地域ぐるみで子どもたちの安全を守る体制の整備充実を図る。

- 1 学校安全ボランティア代表者等連絡協議会  
・参加者 学校安全ボランティア組織の代表者、各学校安全担当教員等 約1,200人  
・内容 養成研修、整備情報の紹介等
- 2 地域学校安全指導員の委嘱  
・指導員 60人(警察官OB等の防犯の専門家)  
・期間 18年4月～19年3月  
・対象校 幼稚園、小学校、中学校、盲・聾・養護学校 601校
- 3 モデル地域 1小学校区

(国10/10)

**愛媛スポーツ・レクリエーション祭開催費補助金** 3,960  
 1 時 期 18年11月5日(日)・12日(日)  
 2 場 所 県総合運動公園、県武道館他50会場  
 3 種 目 陸上競技他 全37種目

**全国スポーツ・レクリエーション祭派遣費** 2,133  
 1 時 期 18年10月21日(土)～10月24日(火)  
 2 場 所 鳥取県鳥取市  
 3 派遣種目 グラウンドゴルフ他 17種目  
 4 派遣人員 196人

**国体予選会派遣費等補助金** 7,487  
 1 国体愛媛県予選会開催費  
 (1) 時 期 18年4月～19年1月  
 (2) 場 所 県総合運動公園他  
 (3) 種 目 40競技128種別  
 (4) 参加者 約10,000人  
 2 国体四国ブロック大会派遣費  
 (1) 場 所 高知県高知市他  
 (2) 派遣種目 30競技111種別  
 (3) 派遣人数 成年463人 少年286人  
 3 交付先 (財)県体育協会

**国民体育大会費** 41,654  
 1 選手団派遣費補助金(684人)  
 (1) 国民体育大会 兵庫県神戸市  
 (2) 冬季大会 ・スケート 北海道苫小牧市  
 ・スキー 秋田県鹿角市  
 2 ユニフォーム購入費補助金(393人)  
 補助率 県1/2  
 3 交付先 (財)県体育協会

**競技力向上対策事業費補助金** 60,618  
 1 競技力向上対策事業  
 (1) 国体トップ3・トップ8獲得事業  
 国体でトップ3、トップ8入賞を目標にする種別に対し、強化合宿、県外遠征試合の経費を補助

分 類	区分	種別	回数	分 類	区分	種別	回数
8人以上の団体競技	トップ3	2	4	2～4人の団体競技	トップ3	7	3
	トップ8	4	2		トップ8	13	2
5～7人の団体競技	トップ3	4	3	個人競技	トップ3	14	3
	トップ8	6	2		トップ8	27	2

(2) 競技力基礎強化対策事業  
 ア 選択メニューから競技団体が1事業を選択して実施  
 ・県内強化合宿 ・優秀チーム招待  
 ・県外遠征試合 ・競技専属トップコーチ招へい  
 イ 必須メニューとして各競技1回実施  
 ・スポーツ医科学アドバイザー派遣  
 (3) 交 付 先 (財)県体育協会  
 2 インターハイ成績向上対策事業  
 (1) 対象種目 28種目  
 (2) 事業内容 インターハイ直前に1泊2日の強化合宿を実施  
 (3) 交 付 先 県高等学校体育連盟

**国民体育大会準備費**

7,511

29年の国体開催準備を行う愛媛県準備委員会の運営経費

- (1) 内 容
- ・総会(年1回)
  - ・常任委員会(年4回)
  - ・専門委員会(年6回)
  - ・募金推進活動
  - ・庁内、市町、競技団体連絡会議
  - ・事務局運営費
- (2) 交付先 第72回国民体育大会愛媛県準備委員会

**えひめ国体推進スポーツ体験・交流事業費**

6,000

29年の国体開催に向けて、県民の意識向上を図る。

- 1 感動・快汗！チャレンジスポーツ・イン東予
- (1) 場 所 西条市西条運動公園
- (2) 時 期 夏休み期間中の1日
- (3) 参加者 小・中学生、一般県民
- (4) 内 容 国体40競技のスポーツ体験コーナー、スポーツ用具の展示紹介等
- 2 小学生スポーツ体験事業
- (1) 場 所 東予地区一円
- (2) 時 期 18年8月～19年3月
- (3) 参加者 小学生、保護者等
- (4) 内 容 国体40競技のスポーツ体験教室

**「媛の国」柔道フェスティバル・イン武道館事業費**

3,266

「媛の国」ふれあい柔道教室

- 1 時 期 18年度夏季休業中
- 2 講 師 国内トップクラス選手
- 3 参加者 県内小・中・高校生等約1,000人
- 4 内 容 講師による技の解説・指導等

**◎ 中高生全国大会成績向上対策事業費**

37,673

## 1 全国高校総体成績向上対策事業

全国高校総体の前に強化合宿、県外遠征、招待試合を実施し、成績向上を図る。

- (1) 強化合宿
- ・対象 県総体ベスト4のチーム及び個人
  - ・日程 1泊2日
- (2) 県外遠征
- ・対象 県総体優勝チーム及び個人
  - ・日程 2泊3日(関西地区)
- (3) 招待試合
- ・対象 県総体ベスト4のチーム及び個人
  - ・日程 2泊3日(関西地区強豪チームとの練習試合)

## 2 全国中学校体育大会成績向上対策事業

全国中学校体育大会の前に県外遠征を実施し、成績向上を図る。

- 県外遠征
- ・対象 県総体優勝チーム及び個人
  - ・日程 2泊3日

## 3 指導者養成事業

中・高校の指導者を対象に県内講師を活用した1泊2日の講習会を実施

**◎ 公認マラソンコース検定事業費**

1,150

## 1 作業手順

- ・10月 図面作成・協議・調整、公認申請
- ・11月 事前調査
- ・12月 実測調査
- ・1月 ポイント打ち及び修正、公認決定通知

## 2 公認期間 19年1月～24年1月

**◎ えひめ国体ジュニア指導者養成事業費**

6,182

## 1 トップアスリート指導者養成事業

## (1) 指導者派遣事業

- ・対 象 国体実施40競技のうち 10競技 各競技1人派遣

## (2) トップ指導者招へい事業

- ・対 象 国体実施40競技のうち 10競技 各競技年2回開催

## 2 交付先 (財)県体育協会



◎ えひめ国体ジュニア育成事業費	14,805
1 地域ジュニアクラブ支援事業 小学生対象のスポーツクラブの活動を支援	
(1) 対象数 10クラブ	
(2) 交付先 (財)県体育協会	
2 ジュニア(中・高)・成年合同地区別練習会支援事業	
(1) 対象数 国体実施40競技	
(2) 交付先 県高等学校体育連盟、(財)県体育協会	
3 ジュニアスポーツ・フロンティアスクール支援事業 小・中学生の体力向上、運動部活動充実の研究等を支援	
(1) 期間 2年間	
(2) 交付先 県小学校体育連盟、県中学校体育連盟	
◎ えひめ国体スポーツマインド活性化事業費	10,711
1 「愛媛の顔」競技種目育成支援事業 全国大会等で入賞可能なチーム、個人選手の県外遠征費を支援	
(1) 対象 150人	
(2) 交付先 (財)県体育協会	
2 地域スポーツ大会等開催支援事業 国体をキーワードとして開催される地域のスポーツ大会、イベントを支援	
(1) 対象 3地域	
(2) 交付先 (財)県体育協会	
3 全国大会等開催支援事業	
(1) 大会名 オリンピックデーラン2006	
(2) 日程 18年5月～19年3月の間に愛媛県で実施	
(3) 交付先 (財)県体育協会	
◎ えひめ国体マスタープラン策定事業費	6,000
1 検討内容 国体の目指す方向 県総合運動公園グランドデザインの策定 主要競技種目と会場イメージ	
2 委託先 第72回国民体育大会愛媛県準備委員会	
◎ えひめ子どもスポーツITスタジアム事業費	3,552
ホームページを活用して、児童生徒の体力向上、スポーツへの参加意識向上を図る。	
1 対象 小学生及び特殊学校小学部児童 約82,000人	
2 内容 インターネット上にホームページを開設し、開設種目に児童が結果を登録する。	
3 表彰 チャレンジ部門 4部門×7クラス 1～10位 創作部門 2部門×2クラス 1～10位	
運動部活動指導者派遣事業費	1,989
運動部活動の活性化のため、地域の経験豊かなスポーツ指導者を派遣	
1 派遣先 中学校・高校の運動部	
2 指導者派遣 39人	
3 派遣内容 1校1人、年間20回	
総合型地域スポーツクラブ支援事業費	3,093
「えひめ広域スポーツセンター」の運営に要する経費	
1 委託先 (財)県スポーツ振興事業団	
2 委託期間 18年4月～19年3月	
3 事業内容 ・ホームページによる情報提供 ・連絡協議会の開催 ・専任指導員等の派遣	

○ 愛媛県奨学資金特別会計貸付金(特別会計)		630,864
(区分)	(高校・高専月額)	(区分) (大学月額)
継続	18,000円	継続 [ 42,000円
新規	国公立・自宅	18,000円
	国公立・自宅外	23,000円
	私立・自宅	30,000円
	私立・自宅外	35,000円
	国公立・自宅	18,000円
	国公立・自宅外	23,000円
	私立・自宅	30,000円
	私立・自宅外	35,000円

**体験活動関係経費** 29,085

**「豊かな感動体験」推進事業費** 6,410

- 1 「豊かな感動体験」推進事業
    - (1) 推進地域 2地域 (推進校:16校)
    - (2) 事業内容 ・「豊かな感動体験」推進地域実行委員会の設置  
・推進校における実践研究
  - 2 地域間交流事業
    - (1) 地域間交流推進校
      - ・事業主体 3市町
      - ・事業内容 学校活動支援委員会の開催  
推進校による通常と異なる環境での体験活動
    - (2) 地域間交流プログラム開発(県事業)
      - 農山漁村体験活動等プログラム開発協議会の開催
      - ・農山漁村における体験活動プログラムの開発
      - ・開発プログラムの普及啓発
- (国 10/10)

**小・中学生長期宿泊体験事業費** 3,000

- 小・中学生長期宿泊体験推進校
- 1 事業主体 6市町(推進校:1市町小学校又は中学校1校)
  - 2 事業内容 学校支援委員会の開催  
推進校による1週間程度の宿泊体験
- (国 10/10)

**命の大切さを学ぶ体験活動推進事業費** 1,873

- 1 命の大切さを学ぶ体験活動の推進
    - (1) 事業主体 2市町(小・中各1校)及び県立学校
    - (2) 事業内容 命の大切さを学ぶ体験活動
  - 2 命の大切さを学ぶ体験活動推進協議会(県事業)
    - ・命の大切さを学ぶ体験活動のあり方について研究
    - ・成果や課題をまとめた冊子の作成
- (国 10/10)

**豊かな人間性育成事業費** 11,023

- 豊かな心をもつ高校生育成事業
- 1 目的 他を思いやるやさしさや、社会性のある豊かな人間性の育成
  - 2 内容 ・乳幼児の保育体験活動 ・高齢者の介護体験活動 ・奉仕等体験活動

**わくわく体験チャレンジ事業費** 2,794

- 自然体験キャンプ
- 1 時期 18年7月22日～7月31日 9泊10日
  - 2 場所 南予青年の家、宇和島市御五神島(おいつかみしま)
  - 3 参加者 県内小学校5年生～中学生 50人
- (国 10/10)

◎ **えひめわくわく子ども塾開催事業費** 1,646

- 自然体験活動、生活体験活動、ボランティア活動等
- 1 時期 18年6月～19年2月 延べ22日
  - 2 場所 中央青年の家、大洲青年の家、砥部動物園など
  - 3 参加者 不登校等の悩みを持つ小中学生及び保護者
- (国 10/10)

## 十一 公営企業管理局

### 工業用水道事業会計貸付金(一般会計)

1,093,331

- 1 貸付方法 長期貸付
- 2 貸付利率 無利子
- 3 貸付時期 年2回(9月、3月の企業債償還時期)

### 病院事業会計負担金(一般会計)

5,453,999

地方公営企業法に基づく、一般会計からの負担金

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1 救命救急センター運営費    | 8 病理解剖経費        |
| 2 周産期センター運営費     | 9 公的病院特殊診療部門運営費 |
| 3 建設改良費(企業債償還利息) | 10 基礎年金拠出金      |
| 4 建設改良費(企業債償還元金) | 11 共済組合追加費用     |
| 5 未熟児施設運営費       | 12 院内保育所運営費     |
| 6 医師研究研修費        |                 |
| 7 結核等病床運営費       |                 |

### 病院事業会計貸付金(一般会計)

10,800,000

- 1 期間 1年間
- 2 利率 無利子

### ◎ 北宇和病院経営安定化事業費(病院事業会計)

442,000

鬼北町へ移譲する県立北宇和病院の経営安定化を図るため、運営費等の一部について財政的支援を行う。

- 1 補助金名 愛媛県鬼北町病院事業基金設置費補助金
- 2 補助対象事業 町立病院の経営安定化のため、鬼北町が基金を設置する事業
- 3 補助上限額 442,000千円

### ◎ 愛媛PET-CTセンター(仮称)管理運営費(病院事業会計)

205,780

県立中央病院に整備したPET-CT(陽電子放射断層撮影装置)施設の管理運営に要する経費

### ◎ 県立病院アスベスト被害防止対策費(病院事業会計)

17,623

県立病院施設におけるアスベストの除去を行う。

- ・中央病院 機械室、電気室
- ・新居浜病院 機械室

### ○ 県立中央病院電子カルテ・オーダーリングシステム整備費(病院事業会計)

165,792

質の高い医療サービスの提供、業務効率の向上を図るため、県立中央病院で運用を開始した電子カルテ・オーダーリングシステム(基本オーダー)に電子カルテシステムを導入し全面運用する。

- 1 整備内容 電子カルテシステム(追加オーダー含む)
- 2 運用開始 18年10月(全面運用)

### 県立病院医療機器緊急整備事業費(病院事業会計)

135,220

- 1 対象施設 三島病院、南宇和病院、新居浜病院
- 2 対象機器 人工呼吸器 外18品目

◎ 県立中央病院建替推進事業費(病院事業会計)

99,938

県立中央病院本院の建替をPFI手法で実施するため、PFI導入アドバイザー業務を専門のコンサルタントに委託するとともに、県立中央病院整備に係る検討委員会を設置する。

事業内容

- 1 PFI導入アドバイザー業務  
実施方針の策定支援、特定事業の選定支援、入札審査等支援、委員会支援、事前調査
- 2 県立中央病院整備に係る検討委員会の設置
  - ・ 中央病院整備検討委員会
  - ・ PFI事業者選定部会